一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇〇九年八月十二日発行（SSKP増刊通巻四二〇五号）

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます

SSKP いずみ

No. 154

2009年9月

＊社会福祉法人　泉会＊

法人本部 泉の家
〒157-0076　世田谷区岡本2丁目33番23号
☎03(3417)3451(代)　FAX03(3426)5359
izumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/izumi/

日の出舎
〒190-0182　西多摩郡日の出町平井3030番
☎042(597)1451(代)　FAX042(597)2205
info@hinodesha.org
http://hinodesha.org/

岡本福祉作業ホーム
〒157-0076　世田谷区岡本2丁目33番24号
☎03(3415)3366(代)　FAX03(3415)4976
okamoto@izumikai.jp
http://izumikai.jp/okamoto/

岡本ホーム 玉堤分場
〒158-0087　世田谷区玉堤2丁目3番1号
☎03(5707)9431(代)　FAX03(5707)9433
tamatutumi@izumikai.jp
http://izumikai.jp/tamatutumi/

本年の聖句

もし、わたしたちが見ないことを望むなら、わたしたちは忍耐して、それを待ち望むのである。御霊もまた同じように、弱いわたしたちを助けてくださる。・・・なぜなら、聖徒のために、神の御旨にかなうとりなしをしてくださるからです。神は、神を愛する者たち、すなわち、神のご計画に従って召された者たちと共に働いて、万事を益となるようにしてくださることを、私たちは知っている。

（ローマ人への手紙8章25～28）

基礎も完成し、泉の家の工事も順調に進んでいます。（8月現在）

希望の星が輝く

理事長　橋向敏治

埋蔵文化財の発掘を無事に終え、「泉の家」の再構築に向けコンクリートの基礎工事が開始されました。来春3月頃に完成見込みです。一方、来春40年目を迎え耐震工事を迫られている「日の出舎」の新改築を地元自治体・日の出町の承認を得て本年7月に申請しました。

日の出舎の申請内容には多くの課題が含まれております。同一法人の泉会が、皆様に支えられて大事業・2ヶ所の施設を新・改築同時進行することになります。「われ弱き時に強し」の聖句が最も身近に感じられます。

人の幸せとは何かは、永遠のテーマです。本人が、その能力を懸命に発揮して人を幸せにしたかどうか、自分のためにも、人のためにも生きたか問われます。口に出したら言葉に責任を持ち行動が伴います。その活動が出来ない時は、関心を持続し、お金を生かして活用する。天に宝を積む、労働を提供するも、お金を出すも価値に変わりはないと思います。

社会に還元する姿・分かち合う姿勢は、憧れる尊い生き方です。本当にしたいことを夢として希望の星としてそれに挑む。その目的を成し遂げた達成感や満足感は、なによりも変え難いものです。多くの方々のご協力によって泉会は今日まで歩んでまいりました。今後とも皆様のご支援をお願い申し上げます。

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇〇九年八月十二日発行（SSKP増刊通巻四二〇五号）

二〇〇八年度 事業報告

貸借対照表（法人合計）

資産の部			負債の部		
摘要	内訳	合計	摘要	内訳	合計
流動資産		214,208,338	流動負債		47,467,722
現金預金	170,160,659	(1,018,128増)	買掛金	0	
売掛金	2,139,738		未払金	19,303,181	
商品・製品	745,317		預り金	527,629	
原材料	70,581		仮受金	12,002,005	
未収金	39,295,786		賞与引当金	15,634,907	
立替金	450		固定負債		17,781,878
前払金	1,795,440		設備資金借入金	0	
その他の流動資産	367			退職給与引当金	17,781,878
			他の固定負債	0	
固定資産		527,010,787	負債の部合計		65,249,600
基本財産	138,988,293	(40,537,925増)			(8,442,563増)
建物	96,039,193		純資産の部		
泉の家	10,460,560		基本金		167,037,230
日の出舎	85,578,633		国庫補助金等特別積立金		47,801,896
土地	42,949,100		その他の積立金		286,904,246
泉の家	5,050,500		移行時特別積立金	110,093,014	
日の出舎	37,898,600		授産移行時特別積立金	2,420,766	
他の固定資産	388,022,494		その他の積立金	174,390,466	
建物	27,749,260		建設積立金	15,893,400	
構築物	1,831,719		施設整備積立金	158,497,066	
機械及び装置	2,000,423				
車両運搬具	8,169,290		次期繰越活動収支差額		174,226,153
器具及び備品	5,179,925		次期繰越活動収支差額	174,226,153	
建設仮勘定	34,860,000				
権利	253,208		（うち当期活動収支差額）	29,169,848	
移行時特別積立金	112,513,780				
その他積立預金	174,390,466		純資産の部合計		675,969,525
他の固定資産	21,074,423				(33,113,490増)
資産の部合計		741,219,125	負債純資産合計		741,219,125
		(41,556,053増)			(41,556,053増)

脚注

	当年度末	前年度末	
減価償却費の累計額	429,051,129円	462,847,124円	
	今年度積立金	前年度末	累計
本部建設積立金	6,000,000円	35,668,400円	41,668,400円
	泉の家改築取崩	158,497,066円	

障がい者の願う福祉実現を

泉会が設立され54年が経過しました。これまで、障がい者のニーズに沿った泉会の事業は「信頼と希望と愛の輪で社会をつなぐ」法人理念の実現に向け、地域に根ざし歩み続けた一年一年でした。この間の障がい者施策の大きな転換は「障がい者の生活環境を厳しくしました。その結果、国も激変緩和措置をとらざるを得ず、制度の根幹が揺らぎました。又、経済的負担能力に見合って負担する「応能負担」へと引き戻されるなど、まだまだ制度の変遷はあると思われ、その流れを確認しながら対処していくことを実感させられた1年でした。

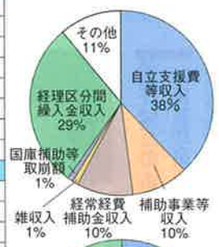
この様な中、私たちは、泉会三カ年計画・経営ビジョンに基く事業展開と経営改革を推進して参りました。

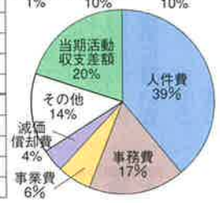
法人の永年の課題のひとつであった「泉の家」建て替えは、困難な情勢の中、国や東京都・世田谷区のご理解、ご支援をいただき、平成20年度障害者（児）施設整備事業（国庫補助）を受け、工事が始まりました。後援会の「いずみ友の会」より、本年も５００万円の寄付をいただき、建物建設資金に使わせていただきました。心より感謝申し上げます。世田谷地域の事業所は、自立支援法に基づく新事業に移行し、それぞれの事業目標に沿って事業展開を進めました。「日の出舎」の建て替え整備は関係者の協力の下、設計事務所が決定し、建築確認申請前の諸問題も解決し、地域自治会の内諾も得る事ができました。２００９年度は地元自治体の了承を得、都へ施設建替計画申請となります。この一年は、これまでの法人の歩みを通して障がい者の願っている福祉実現を探るべき事を再認識した年でした。

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇〇九年八月十二日発行（SSKP増刊通巻四二〇五号）

泉の家（合算）

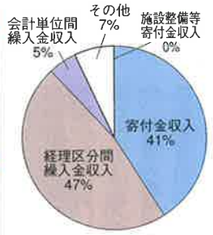
収入	(単位千円)
自立支援費等収入	33,245
補助事業等収入	8,796
経常経費補助金収入	8,725
雑収入	1,089
国庫補助等取崩額	1,400
経理区分間繰入金収入	25,775
その他	8,089
計	88,037
支出	
人件費	33,940
事務費	15,271
事業費	5,955
減価償却費	3,746
その他	12,034
当期活動収支差額	17,088
計	88,037
当期活動収支差額	17,088
前期繰越収支差額	35,710
当期末繰越収支差額	52,799
その他の積立金取崩額	7,300
次期繰越活動収支差額	60,099

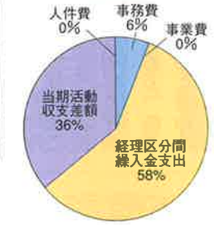




本部

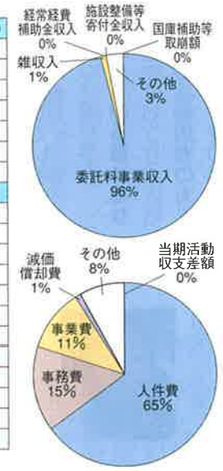
収入	(単位千円)
施設整備等寄付金収入	0
寄付金収入	6,005
経理区分間繰入金収入	6,728
会計単位間繰入金収入	730
その他	981
計	14,444
支出	
人件費	66
事務費	3,019
事業費	12
経理区分間繰入金支出	29,203
当期活動収支差額	-17,855
計	14,445
当期活動収支差額	-17,855
前期繰越収支差額	39,390
当期末繰越収支差額	21,535
その他の積立金積立額	11,000
次期繰越活動収支差額	36,310





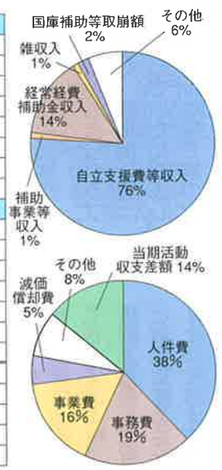
岡本ホーム（合算）

収入	(単位千円)
委託料事業収入	112,320
経常経費補助金収入	0
雑収入	1,415
施設整備等寄付金収入	0
国庫補助等取崩額	0
その他	3,957
計	117,692
支出	
人件費	77,264
事務費	17,301
事業費	12,319
減価償却費	1,547
その他	9,499
当期活動収支差額	-238
計	117,692
当期活動収支差額	-238
前期繰越収支差額	-437
当期末繰越収支差額	-676
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動収支差額	-676



日の出舎（合算）

収入	(単位千円)
自立支援費等収入	150,942
補助事業等収入	2,109
経常経費補助金収入	28,612
雑収入	1,833
国庫補助等取崩額	3,156
経理区分間繰入金収入	0
その他	11,510
計	198,162
支出	
人件費	73,991
事務費	37,915
事業費	31,986
減価償却費	9,908
その他	16,228
当期活動収支差額	28,134
計	198,162
当期活動収支差額	28,134
前期繰越収支差額	89,452
当期末繰越収支差額	117,586
その他の積立金積立額	40,347
次期繰越活動収支差額	77,239



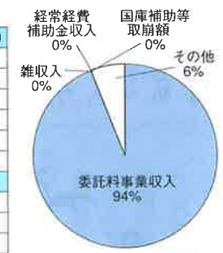
就労活動事業報告

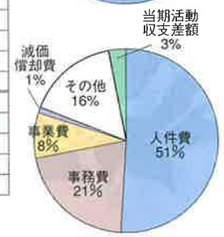
	泉の家	日の出舎	岡本ホーム	玉堤分場
製品販売収入	275,096	6,294,880	711,273	3,472,166
受託加工収入	4,450,648	3,131,021	509,778	113,070
その他	0	0	36,000	0
授産収入合計	4,725,744	9,425,901	1,257,051	3,585,236
作業工賃	2,410,108	6,534,863	971,425	2,556,521
対授産収入	51%	69%	77%	71%
材料費	1,913,350	875,398	245,744	695,036
他の支出	402,286	2,015,640	39,882	333,679
授産支出計	2,315,636	2,891,038	285,626	1,028,715
利用者入所	0名	51名	0名	0名
利用者通所	12.0名	22名	40.0名	10.0名
利用者計	12.0名	73名	40.0名	10.0名
平均工賃月額	12,899円	7,134円	10,015円	21,304円
平均年齢	54.0歳	55.4歳	35.3歳	55.3歳
職員数(常勤換算)	7.83名	19.36名	15.48名	7.57名
前年度配置数	9.9名	18.7名	15.5名	7.65名

※岡本ホーム工賃支給対象者9名（就労移行2名、継続B7名）

玉堤分場（合算）

収入	(単位千円)
委託料事業収入	63,905
経常経費補助金収入	0
雑収入	138
国庫補助等取崩額	0
その他	4,371
計	68,414
支出	
人件費	34,893
事務費	14,506
事業費	5,622
減価償却費	258
その他	11,050
当期活動収支差額	2,085
計	68,414
当期活動収支差額	2,085
前期繰越収支差額	-1,082
当期末繰越収支差額	1,002
その他の積立金積立額	0
次期繰越活動収支差額	1,002





※各合計額は、下1桁を四捨五入しているため、必ずしも一致しません。

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇〇九年八月十二日発行（SSKP増刊通巻四二〇五号）

特集 実習生

泉の家

2005年度実習生
元木 有里子さん

2005年度の実習生の元木有里子さんにお話を伺いました。

現在はどのような仕事に就いていますか?

卒業後、運輸関係の仕事に就いてる3年がたち、昨年の秋から人事部の仕事をしています。時間が不規則で毎日忙しいですが、充実した日々を送っています。

実習中経験した事で、役立っている事はありますか?

実習期間が長かったこともあり、利用者の皆さんと仲良くなれたことは今でも嬉しく思っています。皆さんが温かく受け入れてくれたおかげで、楽しく実習期間を過ごす事ができました。施設内での活動だけではなく、通院の付き添いや、行事・クラブ活動参加など、色々な場面で利用者の皆さんと関わる機会がたくさんあり、一つひとつの出来事を今でもよく覚えています。

社会人になって、人とのコミュニケーションが、より大切だという事を実感しています。現在の人事という仕事も常に人と接する仕事なので、実習で色々な方の『話を聞く』という傾聴の姿勢を経験した事が、今も活かせていると思います。

何か印象に残っている事はありますか?

最後の日に、ある利用者の方に詩をいただきました。その詩の内容と、その方の話を聞いて思わず涙をこぼしてしまいました。とてもいい話を聞かせていただいたと思っています。

現在の仕事はやりがいがあり、今後も続けていきたいと思っています。ただ、色々な経験をして自分の視野を広げ、いつかは福祉と関わりのある仕事も出来たら…とも思っています。

ありがとうございました。

元木さんは、実習後も自らクラブ活動などに参加し、長期間に渡って泉の家に来所していただきました。これからも色々な形で泉の家と関わりを持っていただけたらと思います。

日の出舎

実習期間 2006年9月7日～9月19日

臨床福祉専門学校卒業
社会福祉援助技術現場実習
星野 良仁さん

社会福祉士の資格を取るため専門学校に通っていた時、日の出舎に実習でお世話になりました。初めての実習しかも泊り込みということでありました。実習の内容ですが、御利用者様の支援と介助をさせて頂きました。具体的に言いますと朝食の準備から、作業のお手伝いと入浴と夕食の準備まで丸一日実習させて頂きました。一度だけ買い物にも同行させて頂く機会がありました。感想ですが、一日一日が勉強の日々でありました。その中でも職員の皆様と利用者様の温かい御指摘と励ましは今でも心に深く残っております。人生の大先輩でもある御利用者の方々とお話しすることが出来たのも私にとっては大変な財産となりました。感謝の一言に尽きます。

現在は公立中学校の社会科の非常勤講師として勤務しております。一見、社会福祉と教育は無関係に見えると思いますが、「相手を思いやること」「他者を理解すること」「他者の気持ちになって考えてみること」など共通していることが、たくさんあるように思えます。大切なのは「優しさ」と「思いやり」。この二つは、どの分野においても共通にして大切なことだと思います。社会福祉の世界に少しの時間だけですが関わることができて、思いやりの心や精神を少しでも考えることができ、また今現在の私自身の人生にも深く影響を受けております。実習の中で考えたり、体験させて頂いたことは間違いなく私の人生の財産となりました。本当にありがとうございました。

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇〇九年八月十二日発行（SSKP増刊通巻四二〇五号）

玉堤分場

2005年度実習生
永谷 和佳子さん

私は2005年の夏、教員免許取得のための介護等体験で、玉堤分場で5日間、お世話になりました。夏休みで、小学校へ出張教室に出掛けることが多かったのに加え、利用者さんが書道で表彰され、その発表を見に行ったりしたため、分場での作業はなんと1日だけでした。しかし、その中で、たくさん利用者さんと関わり、大切なことを学びました。

それは、話を聞くとき、わからなかったら何度も聞いてよい、ということです。車での移動中、利用者さんは積極的に話しかけてくれましたが、内容が聞き取りにくかったり、初めて聞く単語が出てきたりで意味がわからず、どう反応していいか戸惑うこともありました。何度も聞き返してしまったのですが、みなさんいやな顔をせず、快くもう一度答えてくれ、時には手帳の自分のことを書いたページを開いて、私の理解を助けてくれました。時間がかかっても、わかりあえたというとき、本当に喜んでもらえたのが印象的でした。当たり前のことですが、わかるまで話を聞くことは本当に大切なことだと感じました。出張教室では子供相手に楽しそうに作業する利用者さんに元気をもらいました。

私は現在、区役所で介護認定に関わる事務をしています。その中で、高齢者の方からの問い合わせに答えるという機会が多くあります。そもそも何が聞きたいのかわからない、ということもありますが、そんなときはあせらず、分場のときのことを思い出して、時間がかかっても何に困っているのか丁寧に聞くことを心掛けています。ケンカ腰で電話をかけてきた方が最後に「ありがとう」と言ってくれたときはうれしくなります。

当初の目標とは異なった場所で働いていますが、分場での経験を活かしつつ、楽しく仕事をさせていただいています。これからもがんばります!

貴重な体験をありがとうございました。

岡本ホーム

以前実習に来られたお二方に、質問に答えて頂きました。

❶実習時期と種類は?
❷現在の仕事は?
❸印象に残っていることは?
❹現在の仕事に活きていますか?
❺その他

高澤 真生 さん

❶2007年2月 介護福祉士実習
❷特別養護老人ホームの介護職員です。
❸「泉の家」と「岡本ホーム」で実習しましたが、「泉」は仕事としての意識を持って作業しているのに対し、「岡本」は利用者が個性に合ったことを自分で選んで精一杯していたのが印象的。
❹個性を大切にすると、その人が活き活きしてくる事を学んだので、現在レクレーションのとき等に身体を動かすのが好きな人にはスポーツ、歌が好きな人なら一緒に歌ったり聴いたりする機会を作っています。
❺一発芸のきっかけはたまたま岩手弁が出てしまい、利用者が興味を持ってくれたので方言講座のようなことをしました。利用者がとても笑って、ウケて、嬉しかった。方言は自分の個性かなと思って最終日の挨拶に披露しました。今でも実習最終日に一発芸の披露があると聞き、驚きました。

※岡本では実習最終日に一芸披露をすることが恒例となっています。

深町 有子 さん

❶2008年7月 社会福祉士
❷地域生活支援センターで精神障害者対象の相談支援事業に非常勤で携わっています。品川区の相談員もしています。
❸利用者が前向きな方が多く、とても温かく受け入れて頂き、楽しく実習できました。
❹「支援」というと「何かをしてあげること」と考えがちですが、それが良いことなのか?と実習しながら考えることができました。また、頭で考えるのではなく五感で利用者のメッセージを理解する事が大切と思いました。今の仕事にも活かせていると思います。
❺利用者の方は、周りの状況や人の気持ちを感じるのが鋭いなと思いました。

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇〇九年八月十二日発行（SSKP増刊通巻四二〇五号）

日の出舎だより

小谷野さん外出について

小谷野久夫さん

僕は、電動車椅子でよく外出をします。近場は立川へ遠くは新宿や秋葉原など都心方面へ出かける事が多いです。電動車椅子に乗り始めてから約1年経った頃にはボランティアと行った時もあった。その当時は楽しさ半分、不安が半分でした。でも、その不安も僕の友だちが不安を取り除いてくれて勇気をもらいました。

僕が出かけるようになったと同時に路線バスにスロープ板付きのノンステップバスが登場したが、当時は台数が少なく一本待ちは当たり前。それと運転手が慣れてないので時間がかかって、他のお客さんに変な目で見られるわ、「そんなことも出来ないの?」って言いたくなる時もありました。過去にトラブルがありました。目的地につき、スイカを運転手に渡そうとしたら「割引証を出しなさい」と逆ギレされました。この時に限ってシートベルトをさせられていたから動くに動けなかった。僕は、「なんだこの野郎バスから降りろ!」って言いたい気持ちでしたが、まあ急いでいたから何も言わずに行きました。

スロープ付きのバスを利用

電車に乗る時に、目的地の駅を言うとその駅から目的地の駅へ連絡がいき、スロープ板をだして電車に乗ります。駅員がスロープ板をだす姿に僕は脱帽しました。鉄道会社によってはスロープ板をださずにそのまま乗れる所もあります。

食事はレストランに入る時もありますが、段差があるため諦めます。デパートに入っている所は入ります。でも、70％はコンビニで買い公園かネットカフェで済ませます。トイレは立川と秋葉原は身障用トイレの場所は把握済みですが、たまに行く所や初めて行く所は聞く事が多いです。

今後も交通機関を利用して沢山外出したいと考えています。

玉堤分場だより

『生涯学習セミナー ～作業体験を通じて～』

6月16日に玉川生涯学習セミナーの講師として依頼があり、紙すきと押し花の出張教室を行なってきました。

この玉川生涯学習セミナーは、玉川総合支所が区内にお住まいの55歳以上を対象に行なっている生涯学習事業です。昨年初めて依頼があり、作業体験だけではなく、玉堤分場の活動紹介や「高次脳機能障害」についての講演も行ったところ、受講者の方々にとても好評で、「今年も是非!」ということで依頼がありました。

上手くできるかドキドキです!!

利用者の方からの「高次脳機能障害」についての講演では、受講生の方々に少しでも知って欲しいという気持ちが伝わった様子で、受講生の皆さん、頷きながら、感嘆しながら熱心に聞いていらっしゃいました。また、紙すきと押し花ハガキ作りの体験は、皆さん苦手といいつつも集中して作っておられ、終わる頃には「今日来て良かった!!」「とても楽しかった!!」とたくさんの嬉しい声を頂きました。今年で2回目ですが、玉堤分場の活動を地域の方に知ってもらう良い機会となっており、また、障がいについて知ってもらう良い機会ともなっています。

（津川　紫瑞）

クッキー・絵付けハガキも好評!!

岡本ホームだより

こんな実習生、あんな実習生

岡本ホームでは、多数の実習生を受け入れていることは、いずみ153号でお伝えしました。

利用者に印象に残っている実習生について伺いました。

・「あいうえお作文」をやった人がいた。面白かった。
・プロの人がJPOPの歌を歌ってくれた。とても上手だった。ゲームの話しで盛り上がった。
・オープンザドアで手伝ってもらったことが印象に残っている。
・ご自身も障がいのある実習生がいて、話をしていて面白かった。声が小さかったので注意をした。
・話し方が明るくて、悩みとかちゃんと聞いてくれた実習生が印象に残っている。自分の悩み事や、普段考えていることとかを話す機会はあまりないので、親身になって聴いて「大丈夫だよ」と言ってもらい、うれしかった。
・「世界のナベアツ」を最終日にやった人が印象に残っている。
・人事院の3人組をよく覚えている。実習が終わってからも行事に来てくれた。
・「岡本版人生ゲーム（岡本の日常を当てはめて作ってあるので、非常にリアリティがあり面白いゲームです）」を作ってくれた二人がいた。今でもゲームをしている。

実習生が作った岡本版人生ゲームです

みなさん、実習生に話しをきいてもらうことをとても楽しみにしているようです。

（国生　いづみ）

お知らせ

岡本ホームでは、12月2日（水）～6日（日）世田谷美術館区民ギャラリーにて、岡本作品展「びっくり!」を開催します。日頃のアート活動の成果を披露します。今回共同制作は「恐竜」です。乞うご期待!

泉の家だより

「ワンちゃんのための Cookie」完成!!

今年の5月より、自主生産品として犬クッキー（名称：ワンちゃんのためのクッキー）を販売し始めました。7月末には、念願のラベルも完成し徐々に売上げを伸ばしています。約1年半の準備期間を経てようやく製品として提供する事ができました。製品として至るまでには、利用者の方はもちろんのこと多くのボランティアの方もご協力をして頂きました。これまでの泉の家では、作業として下請け作業や縫製作業を中心に行ってきました。その為クッキー作りの経験が職員や利用者に無く、どこから手を付けたらいいのか悪戦苦闘の日々でした。インターネットや本で犬クッキーを調べ、実際にお店に出掛けて調べていきました。また、こひつじ幼稚園のボランティアグループあすなろ会のお母さん方のご協力を頂き、クッキー作りのいろはを職員・利用者が一緒になって学びました。利用者の方には、白衣・マスクはもちろんのこと衛生用の帽子・手袋を着用してもらい一つひとつの工程を分担しながら少しずつ慣れてきてもらいました。また、毎週木曜日には犬クッキーを作るボランティアの方も参加していただき、安定した生産ラインを確保しつつあります。泉の家の犬クッキーは「安心」と「健康」にこだわって製作することに重点を置く事にしました。

1袋20g（￥150）約77kcalです

安心…製造・封入の際は、清潔・衛生・消毒を徹底して行っています。また、原料は普段私たちが口にしている多くの量販店で取り扱っている物を使用しています。

健康…数多くの商品に使用されている調理油を一切使わず、カロリーを抑えた商品になっています。歯ごたえがあり少量でも満足感が出る為、ダイエット中のワンちゃんにもお勧めです。

是非お試しください。

（本田　羽瑠香）

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇〇九年八月十二日発行（SSKP増刊通巻四二〇五号）

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可（毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行）
二〇〇九年八月十二日発行（SSKP増刊通巻四二〇五号）

シリーズ 自立

澤野耕二さん

現在、玉堤分場利用3年目になる澤野さん（現在57歳）は、脳幹出血で倒れるまでは寿司職人をしていました。

倒れてからは手足の細かい動きが困難になり、歩行も杖を使ってゆっくりと歩いていましたが、2009年1月より歩行器を使用しています。

歩行器を使用してからは積極的に外出したり、様々な電気機器に興味を持ち、実際に購入したりして、生活の幅が広がっています。

Q. 歩行器を購入しようと思ったきっかけはどんな理由でしたか？

A. 玉堤の活動で、梅が丘にある「たすけっと」（福祉用具の展示場）に行ったでしょう？他の人は杖とかを見ていたけれど、あそこで歩行器を見つけて、触ってみてから、これが必要だと思った。

Q. 使用されてからの生活は変わりましたか？

A. あんま変わんないよ。生活の一つ一つが不自由だから、まぁしょうがないな。

以前、杖の時に踏み切りで転倒して、なかなか起き上がれなかった時は怖かったよ。でも、今は少し足がしっかりしたような気がする。そういう点では少しは楽になったかな。荷物を積めるのもいいね。

Q. 休日の過ごし方はどんな感じですか？

A. ちょこちょことは出かけてはいるけど、やっぱり外出は怖いな。足が不自由だから、車とか人とか周囲にすごく気を遣う。

出かけるのは基本的に怖いよ。だからヘルパーさんがいるとすごく助かる。

Q. 就職はしたいと思いますか？

A. まぁちょっとはあるけど、通勤が大変だからな。特に考えてはいないな。

Q. 今後の希望ってありますか？

A. 年のせいもあるかもしれないけど、何かする事が必ずしも良い事だとは思わない。

俺が入院していた時、退院した人の半分くらいがまた病院に戻ってきた。骨折とかして戻ってくるんだけど、また入院してもつまんないよ。

住む所があって、生活が出来ているという事自体がありがたい事なんだ。今の人間関係や人との出会いを大切にしながら、現状維持していく事が一番だと思っている。

Q. これを読んでいる皆さんへ、一言ありますか？

A. 頑張ってくれ！

とても貴重なご意見ありがとうございました。

我々支援者にとっての自立支援ではなく、当事者にとっての自立とは何か？というのを考えさせて頂いたような気がします。

（木村　守孝）

歩行器の扱いにも大分慣れてきました。

発行所　障害者団体定期刊行物協会　領価五十円
東京都世田谷区砧六の二六の二一
編集人　社会福祉法人　泉会

製品紹介

岡本福祉作業ホーム
「おからかりんとう」

2009年1月より、お豆腐で有名な宮城県「はらから福祉会」の「おからかりんとう」を小分け、袋詰めして販売中です。さっくりと軽い口当たりで、一度食べるとまた食べたくなります。
リピーターのお客様より「美味しいかりんとうをありがとう。優しい気持ちが感じられ、癒されます」とのメールを頂戴しています。

さつま芋・ゴマ・雑穀
竹炭ゴマ・カリカリ豆　各種80g入り 250円

ご注文は、岡本福祉作業ホーム TEL03-3415-3366